



真下慶治生誕100年記念

最上川を描き続けた真下慶治とその家族 母なる河 最上川Ⅱ

平成26年9月5日(金)～11月16日(日)



酒田市松山文化伝承館

〒999-6832 酒田市字新屋敷36-2

TEL 0234-62-2632 / FAX 0234-62-2638

E-mail densho@city.sakata.lg.jp

入館料 / 一般360円、高校・大学生250円、小中学生100円

団体割引有り、小中学生は土日無料、年間会員券1,850円（同伴者2名まで入館できます）

開館時間 / 午前9時～午後4時30分 休館日 / 月曜日（祝日の場合は翌日）

開催にあたって

戸沢村出身の画家・真下慶治は、今年生誕100年になります。画家人生を最上川に捧げた彼は、上流から下流まで県内各地で絵を描き続けました。晩年には松山にアトリエを建て、下流から河口の風景を描く際の拠点としました。

今回の展示では画伯の作品はもとより家族との懐かしい写真、娘と妻を描いた絵、医者であった父が使用していた医薬品、出版された画集、過去の展覧会の図録等の紹介を通して、人間・真下慶治の生涯を振り返ります。

経 歴

- | | | | |
|------|-----|----|--------------------------------------------|
| 1914 | 大正3 | 3月 | 戸沢村津谷に医師 真下元雄・母 キンの次男として生まれる |
| 1931 | 昭和3 | | 新莊中学（新庄北高）卒業
文化学院美術部入学 石井柏亭・有島生馬の指導を受ける |
| 1934 | | 6 | 文化学院卒 二科研究所に入る |
| 1937 | | 9 | 第1回 一水会「船川港」「港風物B」入選 |
| 1940 | | 15 | 紀元二千六百年奉祝美術展「雪最上川」イタリヤ政府買上 |
| 1943 | | 18 | 図司文子と結婚 |
| 1945 | | 20 | 1月 長男誕生 |
| 1946 | | 21 | 第1回 日展「最上川冬景」特選文部省買上
第2回 日展「雪景」特選 |
| 1949 | | 24 | 最上川と鮭川の合流点河畔に仮画室を建てる |
| 1950 | | 25 | 9月 母 キン死去 10月 長女誕生 |
| 1956 | | 31 | 山形市小白川に新居とアトリエを建て転居 |
| 1958 | | 33 | 第4回 茂吉文化賞 受賞 |
| 1957 | | 42 | 第10回 新日展「最上川雲」菊花賞受賞 |
| 1968 | | 43 | 山形大学 教授となる
9月 父 元雄死去 10月 妻 文子死去 |
| 1971 | | 46 | 日展 審査員（以後3回 審査員）
山形県村山市大淀にアトリエを建てる |
| 1978 | | 53 | 大淀アトリエ増築
庄司清美と結婚 |
| 1986 | | 61 | 日展 評議員となる |
| 1988 | | 63 | 山形県飽海郡松山町にアトリエを建てる
一水会 常任委員となる |
| 1992 | 平成4 | | 第7回 小山敬三美術賞受賞 |
| 1993 | | 5 | 9月 79歳 逝去 第55回 一水会「冬の河畔」絶筆 |



津谷の自宅兼診療所前での家族写真（1924年）



『母と娘』（個人蔵）



文化学院時代



医者であった父が使用していた医薬品



愛用の取材用カメラ

伝承館イベント情報

ギャラリートーク

日 時：10月4日(土) 午後1時30分～
場 所：松山文化伝承館 企画展示室内
講 師：真下清美氏（真下慶治記念館館長）
定 員：50名（先着順）
参加費：無料（入館料が別途必要です）
申 込：お電話でお申込み下さい。
TEL 0234-62-2632
9月17日(水)より開始

呈茶

翠松庵 9月21日(日)
// 10月19日(日)

時間 10時～15時
茶券 300円

甲冑着付け体験

11月1日(土)～3日(月)
時間 10時～15時
親子で、カップルで、友達同士で
武士になってみませんか。

